

古町地区の百貨店②

■万代百貨店から大和新潟店へ

万代百貨店の売り場の内容は小林百貨店とほぼ同じでしたが、高級呉服類以外は、すべて東京から仕入れたものでした。万代百貨店はサラリーマンや「中産階級」の人々を相手に商売をしたいと言っていました。昭和14(1939)年に金沢市の丸越百貨店に経営が移り、18年に本社丸越が大和となったのに伴い、大和新潟店と改称しました。

昭和30(1955)年の新潟大火後、増改築を含めた復旧工事を進めました。昭和32(1957)年、メリーゴーラウンドや空中電車などを備えた「屋上プレイランド」を開設し、屋上は子供や若いカップルでにぎわいました。



昭和43年頃 大和店内の様子(当館所蔵)



昭和41年 人々ににぎわう屋上プレイランド(当館所蔵)

■小林百貨店から新潟三越へ

小林百貨店は洋品・食料品・洋服・呉服・家具・貴金属などの売り場の他、喫茶店や食堂・催物場・遊園もあり、屋上からは市内が一望できました。夜には屋上の広告塔から1階のショーウィンドウまで貫く、朱と緑の6本の電飾が輝きました。

昭和30(1955)年の新潟大火後、小林百貨店は映画館に力を入れ、すでにあった「小林映画劇場」に加え、昭和32(1957)年2月に洋画封切館「グランド劇場」を館内に開設しました。落ち着いた雰囲気劇場は、映画ファンに好評でした。昭和55(1980)年2月、小林百貨店の経営は三越へ移り、新潟三越と改称しました。



昭和30~40年代頃 小林百貨店のグランド劇場(当館所蔵)